

## 第5学年 家庭科学習指導案

ろ組 男子 19名 女子 20名 計 39名

指導者 日高 佳菜

### 1 題材 気持ちよく生活しよう I～すっきりぴかぴか大作戦～

#### 2 題材について

##### (1) 題材の位置とねらい

家庭科学習の入門期にあたるこの期の子どもたちは、学校生活や家庭生活の中で、自分の使った物の後片付けをしたり、汚れている部分を掃除したりするなど、日常的に整理・整頓や清掃の経験をしてきている。また、家庭生活の中では、進んで手伝いに取り組んでいる子どもたちも多い。このような生活経験の中で、自分の身の回りだけでなく、居間や台所など、家族が利用する場所を快適に過ごせる場所にしたいといった意欲が高まっている。また、家族の一員として、自分の役割や家族のためにできることは何かを考え、実践してみたいという願いをもっている。

そこで本題材では、気持ちよく生活するためには、どのようなことが必要であるのか、整理・整頓や清掃の視点から考え、家庭の実態に応じた課題に気付き、自分の身の回りを整える方法を選んで見付け、見た目のよさや使いやすさなどから整理・整頓の工夫をしたり、安全面・環境面・経済面を考慮した清掃の仕方を身に付けたりすることをねらっている。また、自分の決めた課題について深く追求し、友達との情報交換を通して、普段行っている整理・整頓や清掃と比較して自分の高まりを実感することをねらっている。

これらの学習は、寒い時期を快適に過ごすための工夫を調べ、身の回りを心地よく快適に整えようし、暖かさ、風通し、明るさなどの視点から、快適にするための工夫の仕方が分かる「冬を快適に過ごそう」の学習へと発展していく。

##### (2) 指導の基本的な立場

整理・整頓や清掃は、学校や家庭での生活を気持ちよく過ごすために必要なものである。学校においては、道徳、学級活動、清掃時間などを通して、整理・整頓や清掃の機会が多くある。整理・整頓とは、必要な物と不要な物を分類し、置き場所を決め、見た目のよさや使いやすさを整えることである。清掃とは、汚れを取り除き、清潔に保つことである。また、安全面・環境面・経済面などを考慮していくことから、精神的にも気持ちよく生活することができる。

これらのことから、見た目や使いやすさを考えた整理・整頓と、安全面・環境面・経済面などを考えた清掃をしていこうとすることは、家族の一員として、家族と共に、楽しく快適に過ごしていこうとする能力や態度を育てる上から大切である。

そこで、本題材では、整理・整頓や清掃の必要性に気付くことができるようにするために、見た目や使いやすさから整理・整頓の工夫をしたり、安全面・環境面・経済面を考慮した清掃の仕方を身に付けたりする。また、自分の決めた課題について深く追求し、普段行っている整理・整頓や清掃と比較して自分の高まりを実感できるようにしていきたい。なお、和室や冷蔵庫、食器棚など、できるだけ実際の場所を使って追求し、実感できるようにしていきたい。

具体的には、気持ちよく生活するためには、どのようなことが必要であるか気付かせ、心理面・健康面両方における気持ちよさについて考えさせる。次に、「自分の家庭においてここを整理・整頓や清掃してみたい」という願いに基づいて課題別グループを編成し、目的意識をもたせる。そして、整理・整頓や清掃の必要性、課題を決め、グループごとに課題を決め、追求したことをまとめ、発表し合う。さらに、整理・整頓や清掃について追求したことを基に家庭での実践計画を立て、実践したことの報告会を行う。

これらの学習を通して、整理・整頓や清掃の必要性に気付いたり、自分の家庭でどのように生かすことができるかが分かたりするとともに、家族の一員として、家族の役に立てることを実感することで、自分の家庭生活をさらに豊かなものにしようとする実践的な態度を高めることができる。

### (3) 児童の実態（質問紙法，複数回答あり）

- ① 家庭生活の中でもっとできるようになりたいこと  
料理 27, 裁縫 19, 掃除 3, 洗濯 1, 食器を洗う 1
- ② 家庭科の学習がどのように生活に生かせるか  
手伝い 12, 家族が困っているとき 10, 料理 8, 裁縫 3, 親になったとき 2, 日常生活 2, 家族に喜んでもらいたい 1, 自立したとき 1
- ③ 整理整頓をする時に気を付けていること  
見付けやすいようにする 9, 決めた場所に直す 8, 種類に分ける 8, 取り出しやすくする 5, きれいに並べる 4
- ④ 清掃のよさ  
気持ちがよくなる 22, きれいになる 20, 住みやすくなる 1, 他の人がうれしくなる 1
- ⑤ 清掃する時に気を付けていること  
隅々までする 11, 丁寧にする 6, 分担する 2, 汚れやごみが残らないようにする 3, 汚れていたらすぐに掃除する 2
- ⑥ 家庭生活における自分の役割  
掃除 19, 洗濯物をたたむ 17, 食事の準備や片づけ 13, 料理 12, ペットの世話 2, 洗濯物を干す 1, 新聞を取りに行く 1, アイロン 1, 頼まれた手伝いをしている 1
- ⑦ 学び方  
インターネット 18, 本 10, 身近な人にインタビュー 6, 今までの学習をもとに 3, 実際にやってみる 1, グループ活動 1,

本学級の子どもたちは、①から、もっとできるようになりたいこととして、清掃と回答している子どもは、少ないことが分かる。このことから、清掃に対する学習意欲があまり高くないことがうかがえる。これは、日常的に清掃を行っているため、改めてできるようになりたいと思う機会が少ないからだと考えられる。②から、家庭科の学習がこれからの生活に役立つということを感じていることが分かる。このことより、家庭科で学習したことを家庭で生かしていきたいという実践的な意欲が高いと考えられるので、家庭生活の中で実践する機会を設定していきたいと考える。③から、整理・整頓は、見やすさや使いやすさという面から必要であることを理解している子どもは多いことが分かる。しかし、どのようにすれば、見やすく、使いやすくなるのか、具体的な方法については十分に理解していないことが分かる。④では、清掃について「気持ちよくなる」などといった

心理面のよさに気付いている子どもが多い。しかし、⑤から、清掃する時に気を付けていることとして、「隅々までする」や「丁寧にする」といった考えが多く、具体的な清掃の仕方までは、理解していないことが分かる。④⑤⑥から、清掃の機会は、多くあるが、現状の清掃の仕方に満足しており、よりよい清掃の仕方については気付いていないことが分かる。よって、**材質や汚れの種類から清潔にするための具体的な清掃の仕方が異なることに気付かせる必要がある。**⑦から、学び方については、実際にやって確かめたいと考えている子どもが少ないことが分かる。これは、家庭生活をよりよくする工夫を追求する手段として製作や実習などの体験活動のよさに気付いていないためだと考える。

このようなことから、子どもたちが家庭科で学習したことを家庭で生かしたいという意欲や聞いたり調べたりして学習していきたいという気持ちを大切にしながら、実際に見た目や使いやすさを考えた整理・整頓や安全面・環境面・経済面を考慮した清掃を通して、整理・整頓や清掃のよさを気付かせるとともに、基本的な知識、技能の定着や生活を工夫する力を身に付けていけるようにしたい。

### (4) 指導上の留意点

- ア 気持ちよく生活するためには、整理・整頓や清掃が必要であることを実感させるために、心理面・健康面の両方における気持ちのよさについて考えさせる。また、「家庭においてここを整理・整頓や清掃してみたい」という願いに基づいて課題別グループを編成し、追求計画を立てさせる。
- イ 整理・整頓を行う上で、見た目よさと使いやすさの両方を考えて行うことが、大切であることに気付かせるために、「整理」と「整頓」の違いを考えさせる。また、**普段当たり前のように行っている清掃の必要性を改めて実感させるために、身の回りの汚れや埃を見付けさせる。**単にきれいにすればいいのではなく、安全面・環境面・経済面について配慮させるために、清掃することによる家族や地域への影響を考えさせる。また、他のグループの整理・整頓や清掃についての追求から自分の家庭に生かせることを見付けられるようにするために、互いに発表させる。
- ウ 自分が家族の一員であり、学習を生活に生かしたいという意欲を大切に、家族の役に立てるということを実感できるようにするため、実践計画に基づいて実践したことを記録させ、家族からの感想を記入してもらおう。さらに、やり遂げたという達成感を感じさせ、自分の実践が認められたという受容感を感じさせるようにするために、家庭で実践したことを報告し合う。

### 3 目標

- (1) 家庭の実態に応じた課題に気付き、自分の身の回りを整える方法を進んで見付けようとする事ができる。
- (2) 機能面における整理整頓の仕組みについて気付くことができ、安全面、環境面、経済面における清掃の必要性について考えながら材質によって清掃の仕方が異なることに気付くことができる。
- (3) 観察や実験、友達との情報交換などの活動を通して、場所や使用目的に応じた整理・整頓や清掃の仕方が分かり、実際に行うことができる。

### 4 指導計画 (全10時間)

過程	学ぶ喜びや楽しさ	主な学習活動	教師の具体的な働きかけ																						
みつめる・つかむ・見通す	気持ちよくとは、どういうことかな。	1 気持ちよく生活するためにはどのようなことが必要であるか話し合い、テーマを決め、学習計画を立てる。①②	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 気持ちよく生活するためには、どのようなことが必要であるか気付かせるために、心理面・健康面両方における気持ちのよさについて考えさせる。</li> <li>○ 家庭での実践までを見通した学習をするために、学習計画の中に、家庭での実践報告会を取り入れさせる。</li> <li>○ 自分の家庭の実態に応じて学習を進めたり、調べてみたいという意欲を高めたりすることができるようにするために、「自分の家庭においてここを整理・整頓や清掃をしてみたい」という願いに基づいて課題別グループを編成させる。</li> </ul>																						
	自分の家も「すっきり」「ぴかぴか」にしたいな。	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">気持ちよく生活するためには、どのような整理・整頓や清掃の工夫ができるだろうか。</p> <p>2 整理・整頓の必要性について考え、自分の課題を設定し、課題別グループに分かれ、解決策について話し合い、課題を追求する。③④⑤</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>物</th> <th>場所</th> <th>課題</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>遊び道具</td> <td>箱の中</td> <td>乱雑になっている【見在目】</td> </tr> <tr> <td>勉強道具</td> <td>引き出し</td> <td>すぐにいっぱいになる【使いやすさ】</td> </tr> <tr> <td>洋服</td> <td>タンス</td> <td>探すのに時間がかかる【使いやすさ】</td> </tr> <tr> <td>洗面道具</td> <td>洗面所</td> <td>物がたくさん出ている【見在目】</td> </tr> <tr> <td>食器</td> <td>食器棚</td> <td>取り出しにくい【使いやすさ】</td> </tr> </tbody> </table>		物	場所	課題	遊び道具	箱の中	乱雑になっている【見在目】	勉強道具	引き出し	すぐにいっぱいになる【使いやすさ】	洋服	タンス	探すのに時間がかかる【使いやすさ】	洗面道具	洗面所	物がたくさん出ている【見在目】	食器	食器棚	取り出しにくい【使いやすさ】				
物	場所	課題																							
遊び道具	箱の中	乱雑になっている【見在目】																							
勉強道具	引き出し	すぐにいっぱいになる【使いやすさ】																							
洋服	タンス	探すのに時間がかかる【使いやすさ】																							
洗面道具	洗面所	物がたくさん出ている【見在目】																							
食器	食器棚	取り出しにくい【使いやすさ】																							
追求する	物が見付からない。手前・中・奥で置き場所を決めて、仕切りで分けてみよう。	3 清掃の必要性について考え、自分の課題を設定し、課題別グループに分かれ、解決策について話し合い、課題を追求する。⑥⑦⑧ (本時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 整理・整頓の必要性に気付かせるために、「整理」と「整頓」の意味を確認させる。</li> <li>○ 身の回りを清掃する必要があることに気付かせるために、身の回りの汚れや埃をゼロハンテープなどを用いて見付けさせる。</li> <li>○ 知識の定着を図るために、汚れや埃が与える人体の影響など、グループごとの追求活動において気付きにくいことについては、教師が補足説明をし、共通理解を図る。</li> <li>○ 汚れの除去は、汚れの場所や種類によって異なることに気付かせるために、条件を制御しながら汚れの除去を行い、結果を比較させるようにする。</li> </ul>																						
	身の回りには、汚れや埃などがあるのできれいになりたい。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>和室</td> <td>洋室</td> <td>窓</td> <td>風呂</td> <td>洗面所</td> <td>台所</td> </tr> <tr> <td colspan="2">畳</td> <td>絨毯(麻・毛など)</td> <td>板</td> <td>ガラス</td> <td>タイル</td> </tr> <tr> <td colspan="2">安全面・環境面・経済面</td> <td colspan="3">汚れの種類</td> <td>アルミ</td> </tr> <tr> <td>ほうき</td> <td>掃除機</td> <td>雑巾</td> <td>スポンジ</td> <td>ブラシ</td> <td>洗剤</td> </tr> </table>		和室	洋室	窓	風呂	洗面所	台所	畳		絨毯(麻・毛など)	板	ガラス	タイル	安全面・環境面・経済面		汚れの種類			アルミ	ほうき	掃除機	雑巾	スポンジ
和室	洋室	窓	風呂	洗面所	台所																				
畳		絨毯(麻・毛など)	板	ガラス	タイル																				
安全面・環境面・経済面		汚れの種類			アルミ																				
ほうき	掃除機	雑巾	スポンジ	ブラシ	洗剤																				
まとめる・生活化への意欲付け	わたしの家には、和室があるから、畳グループが発表したように、風通しをよくして水拭きと乾拭きをしてみよう。	4 整理・整頓や清掃について追求したことを基に家庭での実践計画を立てる。⑨	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 分かったことは何なのか、自分の家庭では、どのように生かすことができるのか振り返るために、振り返りカードに記入させるときには、視点を明らかにさせるようにする。</li> <li>○ 家庭で生かせるようにするために、実践計画に基づいて実践したことを記録させる。その際、家族の一員として家族の役に立てるということを実感させるために、家族から感想を記入してもらう。</li> <li>○ 達成感が感じられるようにするために、各家庭で実践したことの報告会をし、今後家庭生活でどのように生かすことができるのか話し合わせる。</li> </ul>																						
	窓を拭くとき、新聞紙を再利用して使えば、健康や環境にもいいし、お金もかからないですむから、家の窓拭きの実践をしてみよう。	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">気持ちよく生活するためには、見が目よく、使いやすい整理・整頓を工夫したり、安全面、環境面、経済面に気を付けた清掃の工夫をしたりする必要がある。</p> <p>5 実践したことの報告会をする。⑩</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block; margin-top: 10px;"> <p style="margin: 0;">整理整頓や清掃は、気持ちよく生活する上でとても大切だな。自分のできるところから取り組んでみよう。</p> </div>																							

## 5 本時（8／10）

### (1) 目標

環境面を考慮した清掃の仕方を進んで考えようとするができる。また、友達の発表から、汚れの種類や場所によって清掃の仕方を変える必要性に気づき、目的に応じた清掃の仕方が分かる。

### (2) 本時の展開にあたって

本時の展開にあたっては、清掃の必要性や仕方についてより実感を伴った理解をさせるために、情報交換をする際には、実物を用いて、汚れの場所や種類に応じた清掃の仕方を実際に体験できる場を設けるようにする。

### (3) 実際

過程	主な学習活動	時間	教師の具体的な働きかけ
みつめる・つかむ・見通す	1 学級のテーマを確認し、学習のめあてを決める。 ＜学級のテーマ＞ 環境に優しい方法で、学校や家をぴかぴかに掃除しよう。	(分) ↑ 5	○ 目的意識を高めるために、学級のテーマを確認させる。 ○ 自己の成長を感じられるようにするために、これまで様々な教科等で学習したことが追求活動に生かされていたことや、もうすぐ自分の家庭生活において生かすことができそうであるということに触れる。
	2 学級のテーマに沿って、調べたことについて情報交換をする。 グループ じゅうたん ・ 毛足の中のごみや埃を掃除機でよく吸い取る。 ・ 髪の毛や糸くずなどは、粘着テープに付けて取り除く。 など	↓ ↑ 20	○ 発表し合ったことを清掃に生かすことができるようにするために、根拠を明らかにして、追求した結果を発表させるようにする。 ○ 清掃の必要性や仕方についてより実感を伴った理解をさせるために、情報交換をする際には、実物を用いて、汚れの場所や種類に応じた清掃の仕方を実際に体験できるようにする。
追求する	グループ 床 ・ ごみや埃を取り除く。 ・ 住居用洗剤を薄めて拭き、乾拭きする。 など 畳グループ ・ 畳の目に沿って掃除機で掃除し、乾拭きする。 ・ 年に1. 2回は畳を上げて畳の裏を日光に当てて乾燥させ、ほこりをはたく。 など	↓ ↑ 15	㊦ 清掃の仕方について他面的に捉えることができるようにするために、机間指導をする際には、「衛生面」だけでなく、「安全面」「環境面」「経済面」といった視点からも考えさせるようにする。 ○ 根拠に基づいて考えられるようにするために、発表時に用いた資料などを提示し、複数の情報から共通点や差異点を明らかにすることで、目的に応じた清掃の仕方に気付かせるようにする。
まとめる・生活化への意欲付け	3 学習のまとめをする。 汚れやほこりの場所や種類に応じて、そうじの仕方を変えればいい。	↓ ↑ 5	○ 家庭のプライバシーに配慮するために、児童の希望に応じて発表させるようにする。 ○ 掃除を行う際の基礎的・基本的な内容を共通理解させるために、児童同士で気付かなかったことや全員で確認する必要があるものについては教師が補足説明をする。
	4 発表し合ったことを基に、自分の生活で生かせそうなことについて発表し合う。 家に、和室があるから、風通しをよくして畳の水拭きと乾拭きしてみよう。 家のリビングの窓は大きくて汚れが目立つから新聞紙と古布でこまめに拭くようにしよう。	↓ ↑ 5	○ 本時の学習を振り返り、分かったことやこれからの学習や家庭で生かしてみたいという意欲を高めさせるために、振り返りカードに記入させる。
	5 振り返りカードを記入し、本時の学習を振り返る。	↓	